

みやぎ建設新聞

K
発行所
建設新聞社
〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5
2021年(令和3年)
6月9日
水曜日

2日間で約1万人が来場

建設関係の新技术や新工法を展示する「E.E東北21」が、2日、3日の2日間、仙台市の夢メッセみやぎで開かれた。昨年が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となった今回は、過去最多となる319者、934技術が出展。2日間で約1万人が訪れた。今回は国土強靱化の流れを受けて、防災や安全、維持管理、予防保全に関する技術が集結。また、建設業の働き方改革が叫ばれる中、ICTやDXなど、生産性向上に関連した技術にも注目が寄せられていた。

過去最多技術展示の「E.E東北'21」



日本建設機械施工協会東北支部(高橋弘支部長)は、「E.E東北21」の30回

日本建設機械施工協会東北支部(高橋弘支部長)は、「E.E東北21」の30回

記念企画として設けられたサテライト会場「i-Construction」の設営に協力した。同協会の情報化施工技術委員会が主体となり企画、計画した会場で、会員を中心に12社がi-Constructionを出展。ICT搭載のバックホウや3次元測量機器、ドローンなどの実機が体験できたほか、3次元測量から3次元設計データ作成、施工、出来形管理、検査までのICT活用工事の流れを実演するプログラムなども行われ、参加者たちは最新技術に対する理解を深めていた。

日綜産業 軽量型吊り足 場などをPR

4年ぶりに出展した日綜産業(小野大代表取締役社長)は、先行床施工式フロア型システム吊り足場クイックデッキの軽量型となる「クイックデッキライト」の施工デモなどを実施した。展示した製品は「クイックデッキライト」▽法面用機械構台システム足場「マルチアングル工法ロックホルト構台」▽単管足場用安全手すり「フライングシリーズ」▽軽量ジョイント足場「トピノス」▽アルミ製可変式中間ステージ「踊り場」



クイックデッキライトの施工デモ

「ニット」▽歩廊梯子「セフテージ」の6製品。中でもクイックデッキライトは、NETIS準推奨技術登録の高性能吊り足場クイックデッキの軽量型。全体で約35割の部材の軽量化とコストダウンを図り、小規模な橋梁工事などの現場でも採用しやすい製品となっている。デモではクイックデッキライトを東北初採用したパートナー会社の渡辺ハウスが、ステージ上に用意された部材を使い、クイックデッキライトの組み立て・解体を実演。10数分程度でステージ上に大空間が出現し、解体されていく様子が展開された。

旭洋設備工業 プラロード工 法などを紹介

旭洋設備工業(仙台市)及川博之代表取締役社長は、プラロード工法とクロスウェーブ工法を紹介した。プラロード工法は、プラスチック製「クロスウェーブ」を簡易仮設材・軽量盛土材として使用する工法で、ブースでは、新庁舎建



取締役社長)のブースでは鉄筋結束を効率化するNETIS活用促進技術登録の鉄筋結束機「ツインタイア」などを展示し、来場者にPRした。同社は今回が初出展となる。

また、クロスウェーブ工法は、地下にプラスチック製の止水材の空隙を利用し雨水を貯留・浸透する工法で、送電線、高速道路パーキングエリア、農業集落排水路などでの採用実績がある。出展ブースへの来訪者に両工法の詳細を丁寧に説明した。

マックス 鉄筋結束機 などをPR

事務用品や建設工具の製造・販売を営むマックス(東京都中央区)黒沢光照代表



取締役社長)のブースでは鉄筋結束を効率化するNETIS活用促進技術登録の鉄筋結束機「ツインタイア」などを展示し、来場者にPRした。同社は今回が初出展となる。